

未来技術社会実装事業の概要について

令和5年2月21日

内閣府 地方創生推進事務局



総合戦略の基本的考え方

- テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、**今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。**
- **東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。**
- デジタル技術の活用は、その**実証の段階から実装の段階に着実に移行**しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、**各地域の優良事例の横展開を加速化。**
- **これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。**

＜総合戦略のポイント＞

- まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、**2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略**を策定。デジタル田園都市国家構想基本方針で定めた取組の方向性に沿って、**各府省庁の施策の充実・具体化**を図るとともに、**KPIとロードマップ（工程表）**を位置付け。
- 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、**地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂。地域ビジョン実現に向け、国は政府一丸となって総合的・効果的に支援する観点から、必要な施策間の連携をこれまで以上に強化**するとともに、同様の社会課題を抱える複数の地方公共団体が連携して、**効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、デジタルの力も活用した地域間連携の在り方や推進策を提示。**

施策の方向

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- 1 地方に仕事をつくる**
スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等
- 2 人の流れをつくる**
「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等
- 4 魅力的な地域をつくる**
教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等



地方のデジタル実装を下支え

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

- 1 デジタル基盤の整備**
デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の構築（デジタル社会実装基盤全国総合整備計画の策定等）、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化 等
- 2 デジタル人材の育成・確保**
デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保 等
- 3 誰一人取り残されないための取組**
デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事情等に基づくデジタルデバイトの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等



地域ビジョンの実現に向けた施策間連携・地域間連携の推進

＜モデル地域ビジョンの例＞

■ スマートシティ スーパーシティ スマートシティAICT (福島県会津若松市)	■ 「デジ活」 中山間地域 抱い手減少に 対応した自動 集荷機の導入	■ 産学官 協創都市 データを活用した スマート農業の取組 (高知県・高知大学)
■ SDGs未来都市 地域交通システムや コミュニケーション ロボットの活用 (宮城県石巻市)	■ 脱炭素 先行地域 バイオマス発電所 稼働による新産業 の創出 (岡山県真庭市)	

＜重要施策分野の例＞

■ 地域交通の リ・デザイン 自動運転バス の運行 (茨城県横町)	■ こども政策 保健師等との オンライン相談 (山梨県富士吉田市)	■ 教育DX オンラインによる 遠隔合同授業 (鹿児島県三島村)	■ 地域防災力の 向上 GPS除雪管理 システムの導入 (山形県飯豊町)
■ 遠隔医療 医療機関整備の 移動診療車 (長野県伊那市)	■ 地方創生 テレワーク 空き蔵を活用した サテライト オフィスの整備 (福島県喜多方市)	■ 観光DX 観光アプリを活用 した混雑回避・ 人流分散 (京都府京都市)	

地域ビジョン実現を後押し

＜施策間連携の例＞

関連施策の取りまとめ	重点支援	優良事例の横展開	伴走型支援	デジタルを活用した取組の深化	重点支援	優良事例の横展開
✓ 関係府省庁の施策を取りまとめ、地方にわかりやすい形で提示	✓ モデルとなる地域を選定し、選定地域の評価・支援	✓ 他地域のモデルとなる優良事例の周知・共有、横展開	✓ ワンストップ型相談体制の構築や地方支分部局の活用等による伴走型支援	✓ 自治体間連携の枠組みにおけるデジタル活用の取組を促進	✓ 国が事業の採択や地域の選定等を行う際に、地域間連携を行う取組を評価・支援	✓ 地域間連携の優良事例を収集し、メニューブック等を通じて広く周知・共有

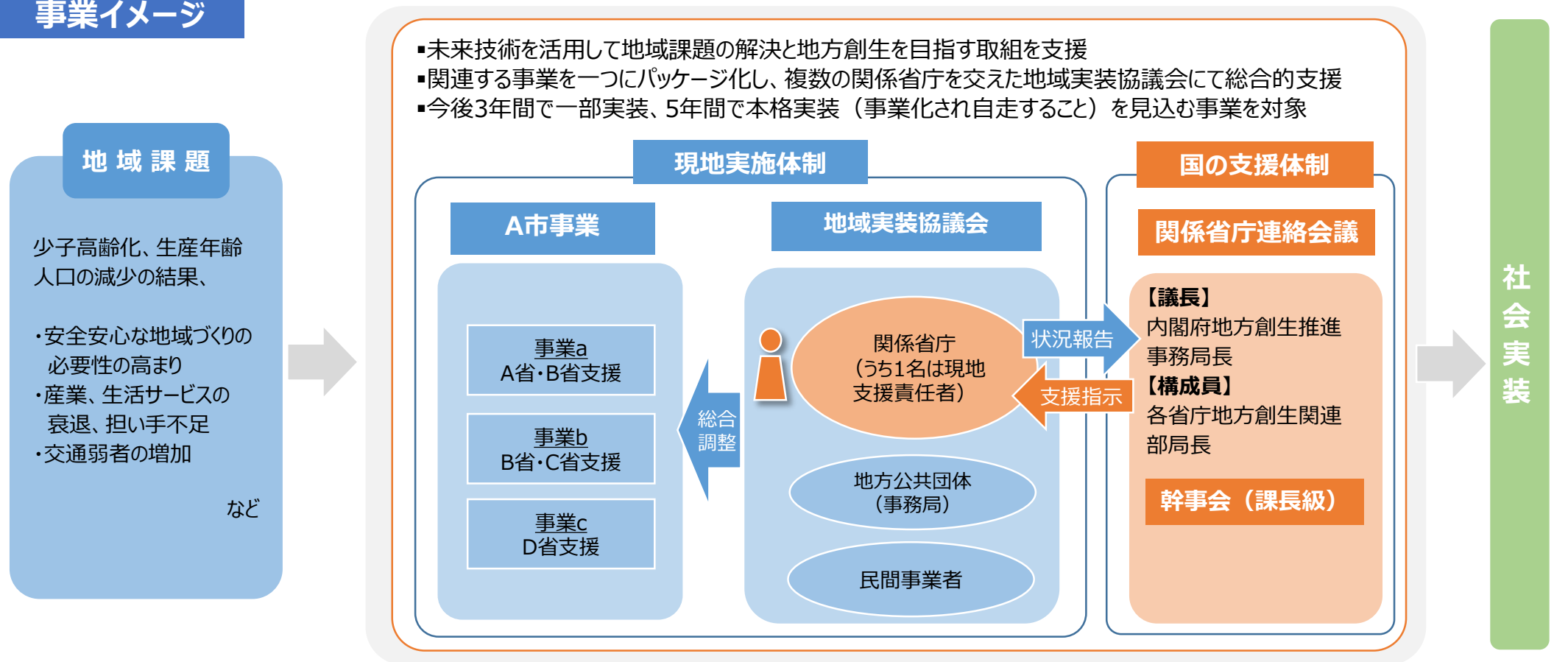
	内閣府 (地方創生推進事務局)	総務省 (情報流通行政局)	国土交通省 (都市局)	経済産業省 (製造産業局)	国土交通省 (総合政策局)
事業名	未来技術社会実装事業	地域課題解決のためのスマートシティ推進事業	スマートシティ実装化支援事業	地域新MaaS創出推進事業	日本版MaaS推進・支援事業
概要	未来技術を活用した地域課題の解決と地方創生を目指し、先進性と横展開可能性等に優れた地方公共団体の取組に対して社会実装の実現に向けた現地支援体制を構築し、関係府省庁による総合的な支援（複数年継続する伴走型支援）を実施	地域が抱える様々な課題（防災、セキュリティ・見守り、買物支援など）をデジタル技術やデータの活用によって解決し、地域活性化につなげるため、地方公共団体等による「都市OS」の整備・改修や、それにつながる各種サービスの実装等にかかる経費の一部を補助	先進的技術等を活用し、まちの課題を解決し、新たな価値を創出するため、都市活動や都市インフラの管理及び活用を高度化するスマートシティの実装に向けて、各地区のスマートシティに関する取り組みを支援	地域における新しいモビリティサービスの社会実装や移動課題の解決に向けて、高度かつ持続的な事業モデルの創出・横展開に資する先進MaaS実証を推進。	エリアや事業を超えた、快適性・利便性の高い交通サービスの実現に向け、各地のMaaSの取組の連携や、各地域内における交通事業者や他分野の事業者の連携等を促進。
R5年度予算	0.3億円の内数 (シンポジウム等、普及啓発を目的とした取組に係る費用等)	4.0億円	2.8億円	数億円	0.55億円
過去の選定数	H30:14事業、R1: 8 事業 R2:12事業、R3:9事業 R4:10事業	H29:6事業、H30:3事業 R1:5事業、R2:5事業、 R3:9事業、 R4:12事業	R1:15事業、R2:14事業 R3 : 20事業、 R4:14事業	R1:13事業、R2:16事業 R3 : 14事業、 R4:11事業	R1:19事業、R2:36事業 R3:12事業、 R4:6事業
主な支援対象	社会実装に向けた関係府省庁による総合的な支援（各種補助金、制度的・技術的課題等に対する助言等） ※実証実験等の実施においては、デジタル田園都市国家構想交付金等の各種交付金・補助金と連携した支援を想定。	「都市OS」の整備・改修、都市OSと接続するサービス・アセットの実装等 (補助率1/2)	実証事業 ※データ取得等に必要な情報化基盤施設の整備についても都市再生整備計画事業等により支援。	地域の課題解決や全国での横展開に向けて、先進的かつ持続的な事業モデルの創出に向けたMaaS実証を委託事業として実施。	・広域的、先進的なMaaS等の取組についての支援 ・新たな決済手段や新しい移動サービスの導入支援、運行情報等のデジタル化支援
問合せ先	未来技術実装担当 g.mirai.s5m@cao.go.jp	地域通信振興課 ict-town@ml.soumu.go.jp	スマートシティプロジェクトチーム hqt-smartcity-mlit@gxb.mlit.go.jp	自動車課 ITS・自動走行推進室担当 bzl-contact_mobility_pt@meti.go.jp	総合政策局モビリティサービス推進課担当 hqt-mobilityservice1002@gxb.mlit.go.jp

概 要

- AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術を活用した地域課題の解決と地方創生を目指し、革新的で先導性と横展開可能性等に優れた地方公共団体の取組に対して、未来技術の**社会実装に向けた現地支援体制（地域実装協議会）を構築し、関係府省庁による総合的な支援を行う事業。**
- 未来技術を活用した地方創生に関する提案を地方公共団体から募集し、H30年度からR4年度までに合計53事業を選定。**選定から5年で社会実装を目指し複数年にわたる伴走型支援を行う。R4年度において45事業※に対して支援を実施中。**

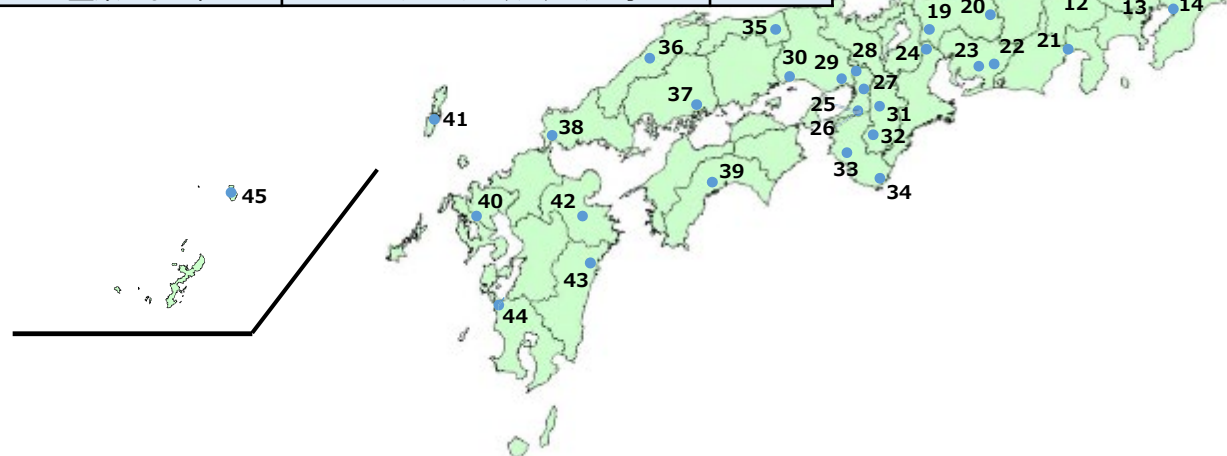
※ H30年度からR4年度までの選定合計53事業のうち8事業はR3年度末までに支援終了。

事業イメージ



R4.12 時点

1	北海道、岩見沢市、更別村	自動運転、ロボット、ドローン	H30
2	北海道旭川市	AI、IoT、ロボット、ドローン 等	R3
3	岩手県盛岡市	AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング 等	R4
4	岩手県陸前高田市(※)	自動運転	R3
5	宮城県仙台市	ドローン	H30
6	秋田県仙北市	自動運転、ドローン	R1
7	茨城県常陸太田市(※)	自動運転、キャッシュレス、ブロックチェーン 等	R4
8	茨城県潮来市(※)	自動運転 等	R2
9	栃木県	AI、IoT、5G、自動運転、ドローン	R2
10	群馬県前橋市	キャッシュレス・ブロックチェーン	R3
11	埼玉県さいたま市	AI、IoT	R3
12	埼玉県秩父市	IoT、自動運転、ドローン 等	R2
13	埼玉県和光市(※)	自動運転 等	R2
14	千葉県千葉市	自動運転、ドローン	H30
15	富山県富山市	AI、IoT	R1
16	石川県小松市(※)	自動運転 等	R2
17	石川県中能登町	AI、IoT、ロボット、VR/AR	R3
18	長野県塩尻市(※)	AI、IoT、自動運転 等	R4
19	岐阜県岐阜市	自動運転	R1
20	岐阜県中津川市(※)	自動運転、VR/AR	R3
21	静岡県	AI、IoT、自動運転	R1
22	愛知県豊橋市	AI	H30
23	愛知県春日井市	自動運転	H30
24	三重県いなべ市	AI、IoT、ビッグデータ 等	R4



No	自治体	主な活用技術	採択年度
25	大阪府、河内長野市	自動運転	H30
26	大阪府河内長野市	AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング 等	R4
27	大阪府四條畷市(※)	AI、IoT、自動運転 等	R2
28	大阪府豊能町	AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング 等	R4
29	兵庫県神戸市	自動運転	H30
30	兵庫県高砂市	AI、IoT、ビッグデータ 等	R4
31	奈良県宇陀市(※)	自動運転	R4
32	奈良県三郷町(※)	自動運転 等	R2
33	和歌山県かつらぎ町	AI、IoT、クラウドコンピューティング 等	R4
34	和歌山県太地町(※)	AI、自動運転、ドローン	R3
35	鳥取県	AI、IoT	H30
36	島根県美郷町	AI、ドローン、キャッシュレス	R2
37	広島県福山市	自動運転、ロボット、キャッシュレス	R1
38	山口県宇部市	AI、IoT、VR/AR 等	R2
39	高知県四万十市(※)	自動運転	R2
40	佐賀県嬉野市(※)	AI、IoT、自動運転、VR/AR 等	R3
41	長崎県対馬市(※)	AI、IoT、自動運転 等	R2
42	大分県	ロボット	H30
43	宮崎県延岡市	AI、自動運転、キャッシュレス	R3
44	鹿児島県長島町	IoT、ドローン、VR/AR 等	R2
45	鹿児島県伊仙町(※)	AI、IoT、自動運転 等	R4

Noは、都道府県コード、市町村コード順

(※)は、国土交通省道路局「内閣府未来技術社会実装事業と連携した自動運転サービス導入支援事業」(R2実施開始)対象事業

※No.は事業一覧地図上のもの

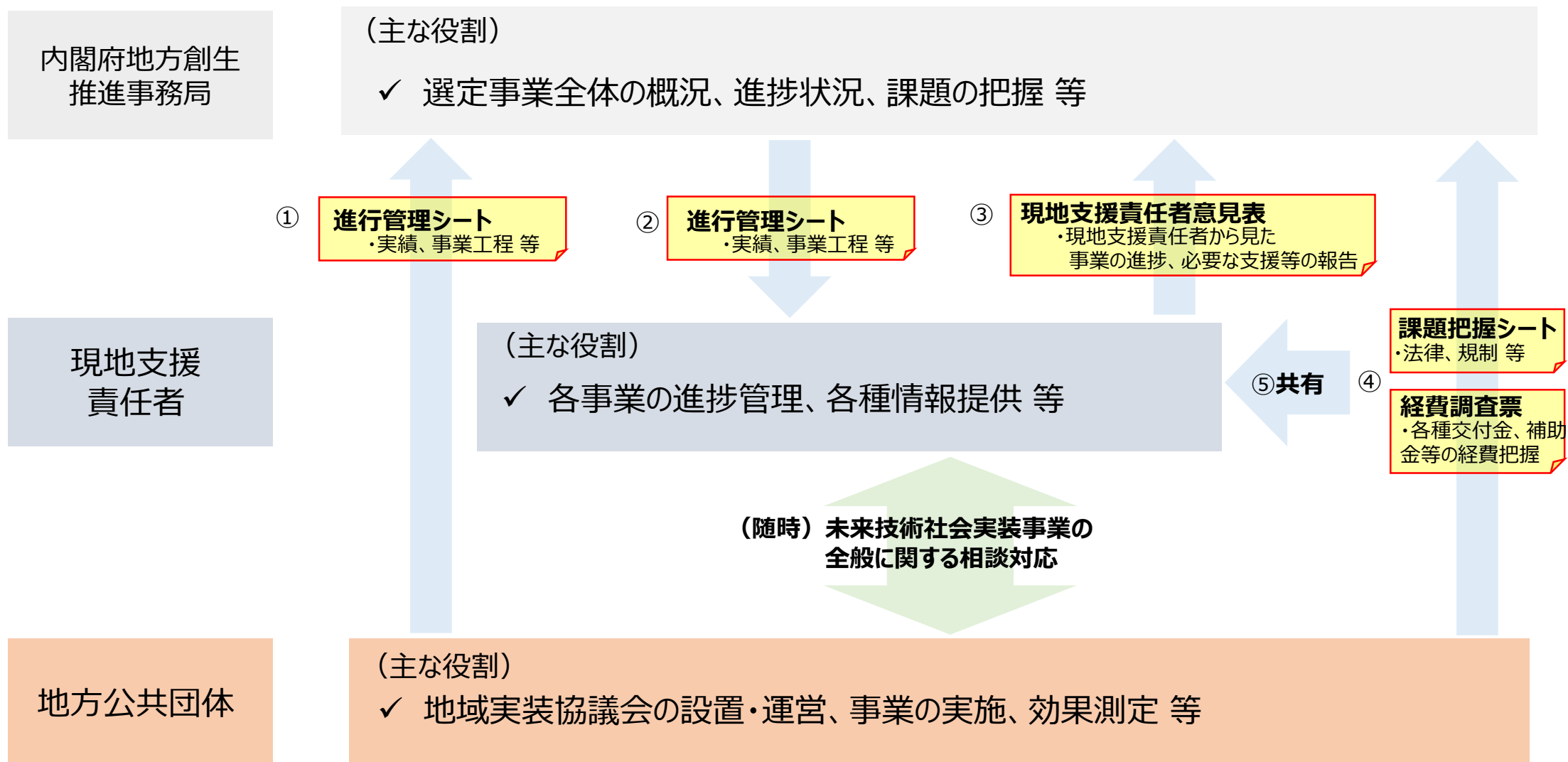
	提 案 者	提 案 タイトル	主 な 活 用 技 術	No.
平成30年度選定 9事業	北海道、岩見沢市、更別村	世界トップレベルの「スマート一次産業」の実現に向けた実証フィールド形成による地域創生	自動運転、ロボット、ドローン	1
	宮城県仙台市	防災・減災分野におけるドローン活用仙台モデル構築事業	ドローン	5
	千葉県千葉市	幕張新都心の中核とした近未来技術等社会実装によるユニバーサル未来社会の実現	自動運転、ドローン	14
	愛知県豊橋市	近未来技術等を活用した「AIヶアシティ」形成事業	AI	22
	愛知県春日井市	高蔵寺ニューモビリティタウン構想事業	自動運転	23
	大阪府、河内長野市	少子高齢化社会における自動運転技術を活用した新たな移動サービスの創出と健康寿命の延伸 ～社会保障費等の抑制による持続的なまちの発展をめざして～	自動運転	25
	兵庫県神戸市	地域に活力を与える地域交通IoTモデル構築事業 ～神戸市における自動運転技術を活用した住み継がれるまちの実現～	自動運転	29
	鳥取県	インフラ情報・管理技術を活用した地域安全マネジメントの展開	AI、IoT	35
	大分県	遠隔ロボットアバターを通じた世界最先端地方創生モデルの実現	ロボット	42
令和元年度選定 5事業	秋田県仙北市	近未来技術を活用した仙北市版グローバルイノベーション	自動運転、ドローン	6
	富山県富山市	富山市スマートシティ推進基盤利活用促進事業	AI、IoT	15
	岐阜県岐阜市	階層構造の公共交通ネットワークへの自動運転の展開により地域先進モビリティシステムを構築する地域活性化事業	自動運転	19
	静岡県	「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型SMART CITY	AI、IoT、自動運転	21
	広島県福山市	先端技術を活用した地域課題解決実証事業 ～「まると実験都市福山」の推進～	自動運転、ロボット、キャッシュレス	37
令和2年度選定 12事業	茨城県潮来市	道の駅「いたこ」・水郷潮来バスターミナルの地域拠点を接続する自動運転サービス事業	自動運転 等	8
	栃木県	とちぎの林業イノベーション by Society5.0	AI、IoT、5G、自動運転、ドローン	9
	埼玉県秩父市	山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業	IoT、自動運転、ドローン 等	12
	埼玉県和光市	地域拠点間を接続する自動運転サービス導入事業（和光版MaaS構想案）	自動運転 等	13
	石川県小松市	小松市における2大交通拠点をつなぐ自動運転バスの導入事業	自動運転 等	16
	大阪府四條畷市	けいはんな学研区域（田原地区）における地域主体の持続可能なまちづくり	AI、IoT、自動運転 等	27
	奈良県三郷町	5Gを軸とした全世代全員活躍のまち「スマートシティSANGO」	自動運転 等	32
	島根県美郷町	映像告知やドローン等の未来技術を活用した遠隔医療実装による美郷町版医療福祉産業イノベーションの実現	AI、ドローン、キャッシュレス	36
	山口県宇部市	レジリエントで持続可能な社会を創る「スマートシティ宇部プロジェクト」	AI、IoT、VR/AR 等	38
	高知県四万十市	自動運転技術利活用による地域公共交通システムの構築	自動運転	39
	長崎県対馬市	対馬スマートシティ推進事業	AI、IoT、自動運転 等	41
	鹿児島県長島町	先端技術を活用した長島大陸未来都市実証事業	IoT、ドローン、VR/AR 等	44

※No.は事業一覧地図上のもの

	提 案 者	提 案 タイトル	主 な 活 用 技 術	No.
令和3年度選定 9事業	北海道旭川市	ドローン・IoT等の未来技術を活用した非対面医療サービスの構築	AI、IoT、ロボット、ドローン 等	2
	岩手県陸前高田市	自動運転サービスの活用による高田松原津波復興祈念公園等における伝承活動促進事業	自動運転	4
	群馬県前橋市	地域「講」モデルでの地域金融再興に向けたDX実証事業	キャッシュレス・ブロックチェーン	10
	埼玉県さいたま市	流行予測AIを活用した「感染症予報サービス」の社会実装及びMaaS連携	AI、IoT	11
	石川県中能登町	デジタルを活用した障がい攻略先進のまちづくり	AI、IoT、ロボット、VR/AR	17
	岐阜県中津川市	超高速交通網との接続にむけた自動運転ネットワークの導入と地域拠点整備による新たな人の流れ創出事業	自動運転、VR/AR	20
	和歌山県太地町	自動運転やドローン等未来技術を活用した高齢者が幸せを感じるまちづくり事業	AI、自動運転、ドローン	34
	佐賀県嬉野市	「I ♥ URESHINO」 新たな交流拠点の誕生を契機に取り組む"Withコロナ観光まちづくり"	AI、IoT、自動運転、VR/AR 等	40
	宮崎県延岡市	市民一人ひとりが主役の時代をつくる延岡市のスマートシティ推進事業	AI、自動運転、キャッシュレス	43
令和4年度選定 10事業	岩手県盛岡市	未来技術チャレンジプラットフォーム『MULTI MONO MORIOKA』	AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング等	3
	茨城県常陸太田市	自動運転の社会実装を見据えたMaaS×eコマース推進事業	自動運転、キャッシュレス、ブロックチェーン 等	7
	長野県塩尻市	塩尻型MaaS×高度無人自動運転サービス社会実装プロジェクト	AI、IoT、自動運転 等	18
	三重県いなべ市	健康で元気な高齢者！！誰一人取り残されないデジタル社会の実現～高齢者が自然とデジタルを活用できる環境の構築～	AI、IoT、ビッグデータ 等	24
	大阪府河内長野市	「地域力」と「未来技術」の融合による「豊かな生活」実装モデル事業	AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング等	26
	大阪府豊能町	コンパクトスマートシティパーク データダッシュボード	AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング等	28
	兵庫県高砂市	たかさご未来資産を貯めようプロジェクト	AI、IoT、ビッグデータ 等	30
	奈良県宇陀市	全世代が住み続けられるための移動手段の社会実装	自動運転	31
	和歌山県かつらぎ町	交流拠点開設を契機に取り組むメタバース技術を活用した持続可能なまちづくり事業 ～新たな関係性によるDX時代のまちづくり「かつらぎ町モデル」の実現～	AI、IoT、クラウドコンピューティング 等	33
	鹿児島県伊仙町	高齢者・障がい者向けの自動運転パーソナルモビリティ導入事業	AI、IoT、自動運転 等	45

	提 案 者	支 援 期 間	提 案 タ イ ト ル	主 な 活 用 技 術
支援 期間 満了 事業 8事業	茨城県、つくば市	H30－R2	高齢社会の課題を解決する近未来技術（Society5.0）社会	自動運転、ロボット
	埼玉県川口市	H30－R2	先端技術体験がもたらす地域振興と人材育成および公共交通不便地域の解消	自動運転
	愛知県	H30－R2	「産業首都あいち」が生み出す近未来技術集積・社会実装プロジェクト	自動運転、ロボット、ドローン
	愛知県豊田市	H30－R2	近未来技術等を活用した「AIヶアシティ」形成事業	AI
	京都府亀岡市	H30－R2	亀岡アクティブライフに向けた近未来技術実装事業	自動運転、ドローン
	三重県四日市市	R1－R3	AI・IoTを活用し、働き方改革と新たなビジネスの創出を実現するスマート産業都市	AI、IoT
	広島県	R1－R3	AI/IoT等実証プラットフォーム事業「ひろしまサンドボックス」	自動運転、ロボット、キャッシュレス 等
	宮崎県、串間市	R1－R3	地域資源とスマート農業技術を融合した次世代農業振興拠点の構築	自動運転、ロボット

- 選定事業の進捗状況や、各時点での課題、事業を促進・阻害する要因などを把握し、適切なフォローアップができる体制を構築（下図参照）
- 具体的には、「進捗管理シート・現地支援責任者意見表（隔月更新）」、「課題把握シート（年1回程度更新し案件毎に随時フォロー）」、「経費調査票（年1回程度更新）」を組み合わせた管理を実施する。



1 シンポジウム・ミニシンポジウムの開催

開催時期：年2～3回程度

- ・先進事例の見学や有識者の基調講演、意見交換会等を通じ、未来技術社会実装のための知識の共有を図るとともに、選定団体同士の交流機会を設けます。令和4年度は、大阪府四條畷市にて開催しました。（概要リンク：https://www.chisou.go.jp/tiiki/toshisaisei/mini_symposium/20221027/index.html）
- ・ミニシンポジウム（オンライン開催）については、例年2月頃に開催予定です。

2 メールマガジンの配信

配信時期：月2回

- ・法改正や審議会等の国の最新動向（月1回）
- ・国内外の最新事例（2か月に1回）
- ・選定団体の直近の取組成果（2か月に1回）

3 選定団体のつながりの創出

- ・シンポジウム等を開催し、未来技術社会実装事業の選定団体同士の交流や情報交換の場を設けることにより、“社会実装”という共通の目標に向けた選定団体間のつながりを創出します。

その他の支援実績

- ・令和4年度には、選定事業の推進にあたってデジタル田園都市国家構想交付金の活用を検討する団体を対象に、オンラインによる事前相談の機会を設けました。
（地方創生推進タイプ、デジタル実装タイプの両交付金担当者へ同時相談も可能）
- ・各府省庁の補助金情報を取りまとめ、年度末に選定団体へ周知しました。

趣 旨

- ・未来技術社会実装事業は、AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術を活用した新しい地方創生を目指す事業で、地方創生の観点から、革新的で先導性と横展開可能性等に優れた提案について、実装に向けた国の支援事業間の総合調整等を行う現地支援責任者を明確にし、関係省庁、地方公共団体、関係民間事業者等で構成する現地支援体制（地域実装協議会）を構築するなど、関係府省庁による総合的かつ横断的な支援を実施している。（支援期間は概ね3年間とする。）
- ・なお、本事業による財政面の措置はなく、地方創生推進交付金等の各種交付金、補助金等と協調した支援（各種交付金・補助金、制度的・技術的課題等に対する助言等）を行う。

募集する提案の対象※提案者は「都道府県or市区町村」。共同提案も可

次の（１）～（４）に該当する事業を対象とする。

- （１）未来技術を活用し、地域課題を解決する（地方創生に寄与する）事業であること。
- （２）次の①又は②の技術の実装に関する事業であること。
 - ① 以下のいずれかに当てはまる未来技術
 - （a）AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング、ビッグデータ
 - （b）自動運転
 - （c）ロボット（ドローン含む）、VR/AR
 - （d）キャッシュレス・ブロックチェーン
 - ② 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）等の研究開発成果を活用する技術
- （３）今後3年間で実装（一部でも可）が見込まれ、5年間で本格実装される（事業化され自走する）事業であること。
- （４）省庁横断的な支援を必要とする事業であること。

提案内容の評価

評価の観点には以下のとおり。

- （１）「募集する提案の対象」（１）～（４）の要件を満たしていること
- （２）「事業により期待される効果」や「未来技術の社会実装に関するこれまでの事業内容」などの提案内容について、具体的に記載され、地方創生への寄与に効果が見込まれること。

スケジュール※年度によって時期は前後します。

4月上旬	公募
5月中旬	公募〆切
6月中旬	スマートシティ合同審査
7月中旬	選定結果の公表